

奨学生募集要項

(大学)

一般財団法人 関育英奨学会

事務局 〒121-0823 東京都足立区伊興 4-1-29

TEL 03-5647-8787

FAX 03-5647-8791

E-mail: jimukyoku@seki-ikueikai.or.jp

URL <https://www.seki-ikueikai.or.jp>

設立にあたって

関育英奨学会は、故前理事長 関 湊夫人 関よつの発意によるものである。

幼少時代から困窮の中を努力第一主義を信念として生きてきた夫妻は、七十余年の生涯を顧みて、よく考えると、自分たちの今日あるのは全く国家社会の恩恵によるものであり、また世間の多くのよき人々の暖かい援助があったお蔭であることを痛感し、感謝せずにはおられなかった。そこでこの恩に報いるためには何をすべきかを夫妻で協議した。結果、それには前途ある有為の人物の育成、即ち育英事業のお手伝いをするのが、社会の大恩に報いる最もよい方法と考えた。育英奨学会の設立を念願して、二人は私財を合わせこれに投じた。夫妻の念願は叶えられ、昭和56年1月8日文部大臣からその設立を許可されたものである。

この事業の目的は、資質優秀な学生に対し、学費を貸与して、修学援助を行い、将来社会に貢献し得る有為の人材の育成をはかり、もって社会の発展と福祉に寄与しようとするところにある。

奨学生を志望される方は、よく、この感謝と報恩の心を理解して、応募していただきたい。

奨学生募集要項

1. 奨学生の出願資格

本会が推薦校として指定した大学の第2学年・第3学年・第4学年に在学し、(6年制学部については第5・6学年も可)人物・学業とも優秀かつ健康でありながら、学資の支弁が困難と認められる者で、在学する学校の推薦した者。

※貸与型奨学金のため留学生は対象としておりません。

2. 出願手続

奨学金の貸与を希望する者は次の書類を揃えて在学する学校長を経て、本会に出願して下さい。

- (1) 奨学生願書(本会所定の用紙)
- (2) 在学学校長の推薦調書(本会所定の用紙)
- (3) 成績証明書
- (4) 在学証明書
- (5) 作文(市販の400字詰原稿用紙800字以内)
題「将来の夢」

3. 奨学金の貸与金額及び貸与期間

- (1) 奨学金の貸与額(貸与ですから返還の義務があります)

大学奨学生 月額3万円

- (2) 貸与期間

奨学生となってから、在学する学校の正規の最短修業期間。

4. 貸与の方法

原則として毎月当月分を本人の申出により銀行に振込送金します。

ただし特別の場合は2カ月以上をあわせて送金することがあります。

5. 奨学生の採用

奨学生の採用は、本会の奨学生選考委員会の選考を経て理事長がこれを決定し在学学校長を経て本人に通知します。

採用になったときは、学校から採用通知書と誓約書を受取り、所定事項を記入押印して必ず期日までに学校に提出して下さい。

理由なく期日までに提出を怠った者は採用を取消します。

6. 奨学金の休止、停止、廃止

- (1) 奨学生が休学し、又は長期にわたり欠席するときは奨学金の交付を休止します。

(2) 奨学生の学業又は性行などの状況により、指導上必要があると認めるときは交付を停止します。

(3) 奨学生が次の各号の一つに該当すると認められるときは、奨学金の交付を廃止します。

- ① 傷病のため成業の見込みがなくなったとき
- ② 学業成績又は性行が不良となったとき
- ③ 奨学金を必要としなくなったとき
- ④ 奨学生として適当でない事実があったとき
- ⑤ 在 schools で処分を受け、学籍を失ったとき

7. 奨学生の復活

規定により奨学金の交付を休止又は停止された者が、その事由が止み、在学学校長を経て願い出たときは、奨学金の交付を復活することがあります。

8. 奨学生の義務

奨学生として採用されたときは次の事項を守ることを誓約するものとします。本会の定める奨学金貸与規程その他の規定を守り、本会及び学校の指示に従い必要な手続きは怠りなく行うこと。なお、ひたすら学業に励み、健康に留意し、奨学生にふさわしい行動をとること。

また、奨学生のために行う本会及び学内の各種行事等には積極的に参加し、奨学生間の意識を高め、相互の親睦に努めること。

9. 奨学金の返還

奨学金は学費として貸与するもので、奨学金はこれを卒業後必ず返還しなければなりません。この返還金はただちにその年の奨学金となり後輩に貸与されます。

奨学金の返還は、貸与が終了した月の翌月から12カ月を経た後、20年以内に年賦、半年賦または月賦による等額割賦の方法によります。奨学金は無利息です。返還の手続き等は貸与期間終了のとき、規定により必要な書類を調製します。

10. 願書記入上の注意

奨学生願書は選考上、大切な書類です。書類提出時の状態をありのままわかるように記入してください。記載内容が故意に事実と相違して記入してあるときは、採用後でも取消します。

一般財団法人 関育英奨学会 奨学生願書 (大学用)



ふりがな			学年								
氏名			年生								
生年月日	西暦	年	月	日	歳						
自宅電話			携帯電話								
現住所	〒										
在学学校名	大学		学部		学科						
貸与希望期間	西暦	年	月	～	年	月	まで	入学年月	西暦	年	月
奨学金の貸与希望するに至った家庭事情等特に考慮を望む事項を具体的に記入する											
その他の学歴・職歴											
本人の1か月当たりの学費等											
収入						支出					
家庭から	円	他の奨学金	円	食費	円	授業料	円				
定職	円	その他から	円	住居費	円	学校納付金	円				
アルバイト	円			交通費	円	その他	円				
				書籍・学用品	円						
計						計					
家族住居区別	持ち家 ・ 借家 ・ 社宅 ・ その他										
父死亡等の場合	死亡 (病気・事故) ・ 生別 ・ 無職										
国の修学支援制度を受けているか	受けている ・ 受けていない										
本会以外の奨学金 (申請中も記入)											
奨学金名	種類 (利子の有無)	申請中	受給期間				月額				
	給付・貸与 (有・無)		年	月	～	年	月	円			
	給付・貸与 (有・無)		年	月	～	年	月	円			

一般財団法人 関育英奨学会 奨学生願書(記入例)

写 真

ふりがな			学年	写 真 枠に収まる大きさ カラー白黒どちらでも可
氏 名			年生	
生年月日	西暦	年 月 日	歳	
自宅電話			携帯電話	
現住所	〒			
在学学校名	大学		学部	学科
貸与希望期間	西暦 2023年4月～2026年3月まで		入学年月	西暦 年 月
奨学金の貸与希望するに至った家庭事情等特に考慮を望む事項を具体的に記入する	↑2年生の例ですので、3・4・5・6年生は終了時期が異なります。			
その他の学歴・職歴	他大学への通学歴や就職経験(アルバイトは含まず)がある場合のみ記入			
本人の1か月当たりの学費等				
収 入 (例)		支 出 (例)		
家庭から 50,000円	他の奨学金 60,000円	食費 本人負担がある場合円	授業料 1か月当たりの金額円	
定職 円	その他から 円	住居費一人暮らしの家賃等円	学校納付金 ある場合のみ円	
アルバイト 20,000円		交通費 定期券代等円	その他 通信費・日用品等円	
		書籍・学用品 円	※授業料は免除者以外必ず記入する	
計 130,000円		←同額にする→計 130,000円		
家族住居区別	持ち家 ・ 借家 ・ 社宅 ・ その他			
父死亡等の場合	死亡(病気・事故) ・ 生別 ・ 無職			
国の修学支援制度を受けているか	受けている ・ 受けていない			
本会以外の奨学金(申請中も記入)				
奨学金名	種類(利子の有無)	申請中	受給期間	月 額
日本学生支援機構	給付・貸与(有・無)	<input checked="" type="radio"/>	2022年4月～2025年3月	50,000円
〇〇財団奨学金	給付・貸与(有・無)	<input checked="" type="radio"/>	2022年4月～2025年3月	30,000円

家族の 状態	区分	氏名	続柄	年齢	勤務先又は学校名	収入年額（概算手取年額）
	1					円
	2					円
	3					円
	4					円
	5					円
	6					円
	7					円
	8					円

家族住所 〒

家族電話番号

家族全員の 収入・ 資産	区分	給与収入（概算手取年額）	商、工、林、漁業収入	その他の収入	
		円	円	利子配当	円
		円	円	家賃収入	円
		円	円	年金	円
		円	円	その他	円
		円	円	その他詳細	
	総年収額		円	1ヶ月平均額	
預貯金		円	有価証券	円	山林
農地		a	宅地	m ²	家屋 戸

家族の 障害関係	本人との続柄	種別	疾病期間

得意学科		長所	
研究科目		短所	

趣味		部活動等で	
運動等		委員経験	

以上のとおり記載事項に相違ありません。貴会の奨学生として採用していただきたく、お願いいたします。

西暦 年 月 日

一般財団法人 関育英奨学会

理事長 高橋 治郎 殿

本人氏名 ⑩

連帯保証人氏名 ⑩

連帯保証人 生年月日 西暦 年 月 日

連帯保証人 現住所〒

家族の 状 態	区分	氏名	続柄	年齢	勤務先又は学校名	収入年額（概算手取年額）
	1	本人を除く家族全員				円
	2	(生計を共にする家族)				円
	3	(年金受給者も記入)				円
	4					円
	5					円
	6					円
	7					円
	8					円

家族住所	〒
家族電話番号	

家族全員の 収入・ 資産	区分	給与収入（概算手取年額）	商、工、林、漁業収入	その他の収入		
		←上記の区分番号を記入 円	ある場合のみ 円	利子配当	ある場合のみ 円	
		円	円	家賃収入	円	
		円	円	年金	円	
		円	円	その他	円	
		円	円	その他詳細		
	総年収額		円	1ヶ月平均額		円
	預貯金		円	有価証券	円	山林
	農地		a	宅地	m ²	家屋 戸

家族の 障害関係	本人との続柄	種別	疾病期間

得意学科		長所	
研究科目		短所	
趣味		部活動等で	
運動等		委員経験	

以上のとおり記載事項に相違ありません。貴会の奨学生として採用していただきたく、お願いいたします。

西暦 年 月 日 ←記入日

一般財団法人 関育英奨学会
理事長 高橋 治郎 殿

本人氏名 自署 ⑩

連帯保証人氏名 自署 ⑩

連帯保証人 生年月日 西暦 年 月 日

連帯保証人 現住所〒

奨学生推薦調書（大学用）

大学

学部

学科

氏名

学年

GPA

※推薦所見は、なるべく具体的かつ詳細に記入していただきたい。

人物について

学業について

家計について

推薦所見

記載者 職位

氏名

Ⓔ

上記の者は人物、学業ともに、優秀、身体強健であって、かつ学費の支弁が著しく困難でありますので、貴会の奨学生として適当の者と認め推薦いたします。

西暦 年 月 日

一般財団法人 関育英奨学会

理事長 高橋 治郎 殿

大学長又は学部長記名押印

Ⓔ

家 庭 調 査 書													
申 請 者	所 属	_____学群 _____学類 _____年次											
	学籍番号	_____	性別	男・女	現住所	〒 _____ 市 () _____							
	フリガナ	_____				家族住所	〒 _____ 市 () _____						
	氏 名	_____											
家 族 及 び 所 得	続柄	氏 名	年 齢	職 業	在職 期間	勤 務 先 名 称	給与所得の収入 金額 (税込)	給与所得以外の 所得金額					
	就 学 者 を 除 く 家 族	父				年		万円	万円				
		母				年		万円	万円				
		父または母 死亡・離別の場合 時期 (年 月) 理由 ()											
	主たる家計支持者無職等の場合 時期 (年 月) 理由 ()												
						年		万円	万円				
						年		万円	万円				
					年		万円	万円					
家 計 支 持 者 に ○ 印	続柄	氏 名	年 齢	学 校 名	設置者別	学校種別	通学別	控 除 額					
	就 学 者	本人			筑波大学	国立		※自 宅 自 宅外	万円				
						※国公立 私 立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)	※自 宅 自 宅外	万円				
						※国公立 私 立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)	※自 宅 自 宅外	万円				
					※国公立 私 立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)	※自 宅 自 宅外	万円					
家 庭 の 特 殊 事	特別控除項目		控除有無										
	障害者がある世帯		※有・無	続柄 ()	氏名 ()	手帳番号 ()	万円						
	その他												
本 人 の 状 況	家庭からの給付	月額 (千円)					認 定						
	アルバイト	月額 (千円)	内容 ()				総収入金額	①	万円				
	奨学金	受給中	月額 (千円)	団体名 ()				必要経費	②	万円			
		申請中	月額 (千円)	団体名 ()				特別控除額	③	万円			
	その他の収入	月額 (千円)	内容 ()				総所得金額	④=①-②-③	万円				
学 業 成 績	評 価	高等学校	5	4	3	2	1	平 均 値	収入基準額	世帯人数	人		
		大学 (院)	A	-	B	C	-			⑤	万円		
	修得単位数または科目数								家計充足率	⑥=④÷⑤×100			

- (注) 1. 太線の枠内を記入し、※印は○で囲むこと。
2. 「給与所得の収入金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額を記入し、所得証明書、源泉徴収票(写)を添付すること。
(父と母が給与所得者の場合は父と母両方添付すること。年金受給者の場合は年金振込通知書(写)。失業者は雇用保険受給資格者証(写)。
3. 「給与所得以外の所得金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額から必要経費を控除した金額を記入し、確定申告書(写)等を添付すること。
(父と母が確定申告をしている場合は父と母両方添付すること。)
4. 「家庭の特殊事情」欄について、障害者のある世帯については障害者手帳(写)、その他については証明するものを添付すること。
5. 「学業成績」欄については、1年次生(編入学生を含む。)にあっては出身学校の成績を記入(科目数で平均値を算出)し、成績証明書を添付すること。2年次以上の者にあっては、前年度までの成績(修得単位数で平均値を算出)を記入し、成績証明書を添付すること。